


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 特任講師</p> <p>田 中 結 香 (たなか ゆか)</p> <p>TANAKA Yuka</p>
所属	保 育 科
学位	修士 (社会福祉学) (日本福祉大学)
資格・免許	社会福祉士 (第 40254 号) 精神保健福祉士 (第 30548 号) 保育士 (山梨県-014084) 介護支援専門員 (登録番号 19080034)
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2003年 3月 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 卒業 (学士 (社会福祉学))</p> <p>2006年 12月 日本福祉学院精神保健福祉士短期通信科 (専門学校) (現日本医療大学) 卒業</p> <p>2013年 3月 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 (通信教育) 修了 (修士 (社会福祉学))</p> <p><職歴></p> <p>2003年 4月 つつじが崎学園 (社会福祉法人宮前福祉会) 児童指導員 (2003年 7月まで)</p> <p>2003年 8月 城東病院 (医療法人慶友会) 社会福祉士 (2014年 5月まで)</p> <p>2014年 4月 健康科学大学 兼任講師 (2022年 3月まで)</p> <p>2014年 6月 社会福祉法人恵優会 社会福祉士 (2020年 10月まで)</p> <p>2017年 4月 日本福祉大学社会福祉実習教育センター 社会福祉士実習指導講師 (現在に至る)</p> <p>2017年 4月 NHK 学園社会福祉士養成課程 非常勤教員 (2022年 3月まで)</p> <p>2018年 12月 大原医療秘書福祉保育専門学校社会福祉士養成通信課程 非常勤講師 (現在に至る)</p> <p>2019年 4月 日本福祉大学福祉経営学部 (通信教育) 兼任講師 (2022年 3月まで)</p> <p>2020年 11月 甲府市役所生活福祉課 自立相談支援員 (2022年 3月まで)</p> <p>2021年 4月 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校こども保育学科 非常勤講師 (現在に至る)</p> <p>2021年 4月 穴吹国際みらい専門学校社会福祉学科通信課程 非常勤講師 (2022年 3月まで)</p> <p>2022年 4月 山梨学院短期大学保育科 特任講師 (現在に至る)</p> <p>2022年 4月 山梨学院大学健康栄養学部 兼任講師 (現在に至る)</p>
担当科目	社会福祉 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 社会福祉特論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 社会生活と健康 基礎演習Ⅰ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 社会福祉概論 (山梨学院大学健康栄養学部)

専門分野	社会福祉学	
現在の研究テーマ	多職種連携実践/多職種連携教育 (IPW/IPE) ソーシャルワーク (地域・保育・医療・高齢者・司法)	
競争的資金等の研究課題	-	
所属学会	日本公衆衛生学会 日本保健医療福祉連携教育学会 日本社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本社会福祉士会 山梨県社会福祉士会	
メッセージ	専門職として「人を援助する」とはどのようなことでしょうか。社会福祉学では、専門職としての対人援助業務に求められる高度な知識や技術、価値について、他の専門職との円滑な連携、相談援助のプロセス等も学びます。みなさんが素敵な対人援助の専門職となれるよう、一緒に取り組んでいきたいと思います。	
教育		
2023年4月～2024年3月		
教育方針	実践と理論の循環を意識し、多職種連携ができる保育者の養成	
授業	授業の工夫	<p><社会福祉></p> <p>保育者がなぜ社会福祉を学ぶ必要があるのかについて事例等を用いて毎回丁寧に説明した。社会生活における話題（ニュース）をリアルタイムに取り上げて、社会を身近に感じ、問題提起する考え方ができるよう、アクティブラーニングを積極的に取り入れた。また、保育の知識や技術だけではなく、多職種と円滑に連携しながら実践ができるよう、多職種連携教育にも取り組んだ。</p> <p><社会的養護Ⅱ></p> <p>社会的養護における応用的な内容を中心に取り上げた。特に、子どもの権利条約や里親とフォスターリングソーシャルワーク、施設養護の特徴等、実践内容を交えながら授業を進めた。後半では、ソーシャルワークを中心に、社会的養護におけるソーシャルワークの必要性について、児童虐待の事例を中心に、ソーシャルワーク技術の活用方法についてグループで検討する等のアクティブラーニングを積極的に取り入れた。</p> <p><環境と健康></p> <p>人を取り巻く環境及び人の健康に対して、生活者の視点から介入することを目的に、自身の日常生活におけるトピックスを取り上げ、その内容と関連させながら環境と健康問題に対する理解を深めた。特に、保健・医療・福祉の社会的課題を取り上げ、社会全体と自分自身のより良い生活の構築に向けた方法や理論を検討する材料を提供し、自身の日常生活へ還元できるよう具体的な事例を出し、アクティブラーニングを取り入れて進めた。</p> <p><社会生活と健康></p> <p>栄養士がなぜ社会福祉を学ぶ必要があるのかについて、社会的課題が身近にあることがイメージできるよう、社会福祉の各分野（高齢・障がい・児童・貧困・医療）の栄養に関する実際の事例を収集して活用した。また、社会福祉の視点を持った栄養士の活躍が理解できるよう、実際に現場で実践をしている栄養士のインタビュー映像を教材として作成し、理解を促した。</p>

教育（つづき）		
2023年4月～2024年3月（つづき）		
授業（つづき）	授業改善のための取組	最新の社会的課題をリアルタイムに取り上げられるよう、常にテーマに関連する学会や研修会等に積極的に参加して情報収集に取り組んだ。現場の実践に即した事例を提供できるよう、テーマに沿った対象者に取材をし、最前線の現場の実践内容を学習テーマと関連させながら教材の作成に取り組んだ。学生には授業ごとにリアクションペーパーを記入してもらい、データを統計分析して期待に沿う授業内容とできるよう修正した。
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<卒業演習> 学生一人ひとりとのラポール形成を意識し、自身の興味あるテーマがより深められるよう、テーマに沿った内容を協働して学修し、助言ができるよう努めた。また、学生をエンパワメントすることで継続して取り組めるよう支援した。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADHD の子供を持つ親に保育士ができる支援とは －インタビュー・先行研究をもとに考える－ ・ 幼少期に受けた児童虐待による心身的影響と児童虐待を受けた人への関わり方 ・ 待機児童と保育士不足の関係性 ・ 児童虐待の防止に向けた保育者の役割 ・ 保護者の育児ストレスに対する保育者の支援 －新型コロナウイルス感染拡大の影響から－ ・ 児童虐待を予防するための親へのメンタルヘルスケア ・ アイデンティティの形成、確立において保護者が与える影響について ・ 地域における子育て支援の必要性 ・ マスクの着用による幼児への影響 －子どもたちの権利を見つめ直す研究－ ・ 自閉症スペクトラムをもつ子どもの保育ではどのような支援が必要なのか ・ 児童虐待を受ける子どもに保育士としてできること
課外活動	—	
2023年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2023年4月～2024年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） <u>査読付き</u> 司法書士との連携に関する地域包括支援センター社会福祉士の認識 （共著：筆頭）	2024年 3月	保健医療福祉連携 第17巻1号 （日本保健医療福祉連携教育学会）
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育士養成課程における施設実習に関する研究の概観 （単著）	2024年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第44巻
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育分野におけるソーシャルワークに関する研究の概観 （単著）	2024年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第44巻
（その他：学会発表） 保育者養成校学生の講義前後における「社会福祉」に対する印象の変化 （共同：筆頭）	2023年 10月	第71回日本社会福祉学会秋季大会 （東京）
（その他：学会発表） 保育ソーシャルワークにおける課題の検討－保育者の認識に焦点を当てて－ （共同：筆頭）	2023年 10月	第82回日本公衆衛生学会総会 （茨城）
（その他：学会発表） 保育分野におけるソーシャルワークに関する研究の整理 （共同：筆頭）	2023年 11月	第19回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 （山梨）
（その他：学会発表） 司法書士との連携に関する地域包括支援センター社会福祉士の認識 （共同：筆頭）	2023年 11月	第16回日本保健医療福祉連携教育学会 （愛知）
2023年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 大学コンソーシアムやまなし 未来の学び （小学生のための生涯学習講座） （共著）	2023年 3月	学研出版 ＜担当部分＞ 地域の暮らしを住みやすくデザインしよう～社会福祉の考え方から～
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育者養成校学生の講義前後における「社会福祉」に対する印象の変化 （単著）	2023年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第43巻

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) <u>査読付き</u> 弁護士との連携に対する地域包括支援センター社会福祉士の困難感と期待感 (共著：筆頭)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター社会福祉士と弁護士の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 (共著：筆頭)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) わが国における若年層を対象とした「自殺」に関する研究の概観 (共著)	2021年 3月	健康科学大学紀要 第17号
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター職員と司法専門職の円滑な連携推進に向けてー連携に必要な要素の実態把握からー (単著)	2019年 3月	社会福祉士 第26号 (日本社会福祉士会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー (MSW) への精神的支援ーメンタリングとスーパービジョンに焦点を当ててー (共著：筆頭)	2019年 3月	社会福祉開発研究 第14号 (日本福祉大学大学院)
(学術論文) <u>査読付き</u> 地域包括支援センター業務における司法ソーシャルワーク機能ー司法専門職との連携機能に関する職種間の認識差に着目してー (共著：筆頭)	2018年 10月	保健医療福祉連携 第11巻2号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 司法ソーシャルワーク推進に向けた地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の連携に対する認識 (共著：筆頭)	2018年 3月	健康科学大学紀要 第14号
(学術論文) <u>査読付き</u> 在宅療養者の同居家族が抱える介護負担感と地域包括支援センターへの期待ー家族介護教室に焦点をあててー (共著：筆頭)	2017年 3月	健康科学大学紀要 第13号

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) <u>査読付き</u> 病院に勤務するソーシャルワーカーが抱える業務上の不安とメンタリングに関する認識 (共著：筆頭)	2016年 3月	健康科学大学紀要 第12号
(学術論文) <u>査読付き</u> 医療ソーシャルワーカー (MSW) が抱える業務上の不安と解消の手立て (共著：筆頭)	2015年 3月	保健医療福祉連携 第8巻2号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の看護師・医療ソーシャルワーカーの業務に関する認識－専門職連携に焦点を当てて－ (共著：筆頭)	2013年 3月	保健医療福祉連携 第6巻1・2号合併号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護サービス事業所職員の高齢者虐待防止法に対する理解と高齢者虐待対応の認識 (共著：筆頭)	2012年 9月	保健医療福祉連携 第5巻1号 (日本保健医療福祉連携教育学会)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の医療ソーシャルワーカーの現状と社会的入院に関する認識 (共著：筆頭)	2012年 3月	社会福祉学研究 第7号 (日本福祉大学大学院)
(学術論文) <u>査読付き</u> 介護療養型医療施設の退院調整に携わる看護師・医療ソーシャルワーカーの業務に関する認識とストレス対応力 (SOC) との関連 (共著)	2010年 3月	山梨大学看護学会誌 第8巻2号
(その他：学会発表) 保育者等のスーパービジョンに関する文献レビュー (共同：筆頭)	2022年 10月	第81回日本公衆衛生学会総会 (山梨)
(その他：学会発表) 福祉と司法の連携促進のための研修プログラムの作成と効果 (共同：筆頭)	2020年 10月	第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 大学生の自殺予防研究における一考察 (共同)	2020年 1月	第8回日本公衆衛生看護学会学術集会 (愛媛)

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 地域包括支援センターにおける地域ケア会議の活用による多職種連携の実践 (共同)	2018年11月	第15回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 (山梨)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の「連携」のきっかけと困難感 (共同：筆頭)	2018年10月	第77回日本公衆衛生学会総会(福島)
(その他：学会発表) A県における地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の比較 (共同)	2018年1月	第6回日本公衆衛生看護学会学術集会 (大阪)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター社会福祉士の司法ソーシャルワーク連携の実態 (共同：筆頭)	2017年11月	第14回山梨社会福祉実践学会(山梨)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに対する認識 (共同)	2017年9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と弁護士・司法書士の司法ソーシャルワークに関連した「連携」の特徴 (共同：筆頭)	2017年9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 地域包括支援センター職員と法律専門職の連携活動の実態 (共同)	2017年9月	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (千葉)
(その他：学会発表) 医療ソーシャルワーカー (MSW) の不安に対するメンタリングの可能性 (共同：筆頭)	2016年8月	第9回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (東京)
(その他：学会発表) 同居家族の介護負担感と地域包括支援センターの家族介護教室への期待 (共同：筆頭)	2015年8月	第8回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (東京)

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 地域包括支援センター活用に関する介護支援専門員の認識 (共同：筆頭)	2014年10月	第73回日本公衆衛生学会総会(栃木)
(その他：学会発表) 介護支援専門員の地域包括ケアシステム・地域ケア会議に対する認識 (共同)	2014年10月	第73回日本公衆衛生学会総会(栃木)
(その他：学会発表) 介護支援専門員の地域包括支援センターとの連携に関する認識 (共同：筆頭)	2014年9月	第7回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会(新潟)
(その他：学会発表) 医療ソーシャルワーカー(MSW)が抱える業務上の不安 (共同：筆頭)	2013年10月	第72回日本公衆衛生学会総会(三重)
(その他：学会発表) 高齢者虐待防止に向けた地域包括支援センターと介護サービス事業所職員との連携 (共同：筆頭)	2011年10月	第4回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会(神奈川)
(その他：学会発表) ソーシャルワーク業務に対する不安とメンターの存在との関連 (共同：筆頭)	2011年10月	第70回日本公衆衛生学会総会(秋田)
(その他：学会発表) Recognition of Staff of Nursing Service Office to Elderly Abuse (介護サービス事業所職員の高齢者虐待に対する認識) (共同：筆頭)	2011年10月	The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing (第2回日韓地域看護学会協働学術集会)(兵庫)
(その他：学会発表) 高齢者虐待に対する介護サービス事業所の認識 (共同：筆頭)	2011年7月	第19回日本社会福祉士会全国大会社会福祉学会(京都)
(その他：学会発表) A県内病院ソーシャルワーカーの業務上の不安とメンタリングに対する認識 (共同：筆頭)	2011年2月	第8回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会(山梨)

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設の社会的入院に対する 看護師と医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2010年10月	第69回日本公衆衛生学会総会(東京)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設廃止に伴う医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2010年2月	第7回山梨社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会(山梨)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設の社会的入院に対する 医療ソーシャルワーカーの認識 (共同：筆頭)	2009年10月	第68回日本公衆衛生学会総会(奈良)
(その他：学会発表) 介護療養型医療施設 MSW のストレス対処能力 SOC と役割受容との関連 (共同)	2009年10月	第68回日本公衆衛生学会総会(奈良)

社会貢献	
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等	
2023年4月～2024年3月	
2023年4月	甲府市介護認定審査会審査委員（現在に至る）
2023年4月	甲府市在宅医療・介護連携推進会議 代表者会議委員（現在に至る）
2023年4月	甲府市在宅医療・介護連携推進会議 多職種連携ワーキンググループ委員 （現在に至る）
2023年4月	笛吹市高齢者虐待防止ネットワーク委員会委員（現在に至る）
2011年4月	山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 実行委員 （現在に至る）
2023年3月以前（主なもの）	
2023年1月	日本司法書士会連合会高齢者の権利擁護部会会議 アドバイザー
2023年1月	第18回山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 座長
2022年8月	大学コンソーシアムやまなし 未来の学び（小学生のための生涯学習講座） 講師
2022年4月	第18回山梨県社会福祉実践学会ソーシャルワーク実践研究発表会 研究支援アドバイザー
2021年3月	山梨県峡東保健所 看取りに関する調査・分析作業 助手
2020年2月	令和元年度 忍野村地域ケア会議 研修講師
2019年12月	山梨県峡東保健所 看取りに関する調査・分析作業 助手
2019年12月	令和元年度 第4回 富士北麓地域介護支援専門員研修会 講師
2019年10月	令和元年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 実践編 ファシリテーター
2019年7月	令和元年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 基礎編 ファシリテーター
2019年3月	第32回日本保健福祉学会学術集会（山梨大会） 開催運営委員 （2019年10月まで）
2018年7月	平成30年度 山梨県障害者虐待防止・権利擁護研修 基礎編 ファシリテーター
2018年5月	第15回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2017年5月	第14回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2016年5月	第13回 山梨社会福祉実践学会 研究支援セミナー 講師
2013年11月	健康科学大学 高齢者に対する支援と介護保険制度 ゲスト講師
2013年10月	第11回 山梨社会福祉実践学会 プレ大会セミナー Aコース 講師
2012年8月	山梨県立大学 看護実践開発研究センター 看護職のための統計学基礎講座 助手
2012年1月	健康科学大学 社会福祉士国家資格対策講座 高齢者に対する支援と介護保険制度 講師
2011年12月	健康科学大学 地域福祉の理論と方法／相談援助の基盤と専門職 ゲスト講師
2010年10月	山梨県リーガルサポート勉強会 講師
受賞 ※個人、所属団体	
2023年11月	第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 優秀ポスター賞（IPWの研究） 受賞
2008年12月	業務改善委員会表彰（医療法人慶友会城東病院）